2023.10.24

高円宮杯第 75 回全日本中学校英語弁論大会　開催要項

決勝予選大会	2023年11月22日(水)23日(木・祝)	開場　午前　8 時 30 分 開始　午前　9 時 00 分	国立オリンピック記念 青少年総合センター
決 勝 大 会	2023年11月24日(金)	開場　午前 10 時 30 分 開始　午前 11 時 15 分	有楽町よみうりホール

【　目　的　】

本大会は、国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与することを目的とする。

【 実 施 要 項 】

各都道府県の大会主催者が、まず都道府県大会(以下県大会と称す)を実施する。この県大会で選ばれた代表が東京での決勝予選大会(11 月 22 日、23 日)及び決勝大会(11 月 24 日)(以下あわせて中央大会と称す)に臨み、高円宮杯を目指す。

【 都 道 府 県 大 会 】

①　県大会の期日、開催形式は県大会主催者の指示に従うこと。

②　参加資格　(1)　日本の中学校またはそれに相当する中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦した者。ただし、下記(a)～(d)に該当する者は参加できない。当該学校長は推薦の際、事実関係を確認の上、下記(a)～(d)に抵触しないことを証するものとする。

(a)　満 5 歳の誕生日以後に、通算 1 年以上または継続して 6 か月以上、英語圏(*)に居住した者。

(b)　日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に 6 か月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園はこれに含まない。

(c)　保護者または同居親族に、英語を母語とする者もしくは英語圏(*)出身の者がいる場合。

(d)　過去に本大会の中央大会にて 1 位～3 位に入賞した者。

(*)「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照のこと。

https://www.jnsafund.org

(2)　上記の条項に違反して出場した場合、失格とする。

(3)　個別事案における参加資格の有無について、最終的な判断の権限は日本学生協会(JNSA)基金に帰属する。

不明な点については、同基金高円宮杯事務局に問い合わせること。

③　応募形式

≪弁論部門≫　(1)　弁論原稿(A4 サイズ1枚・手書き不可)を 2 部添え高円宮杯申込書を都大会要項に準じて県大会主催者へ提出すること。締切は、県大会主催者が決定する。

(2)　論題　：　自由

弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。ただし、今年度の高円宮杯関連大会で発表したものはこの限りではない。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。これらに違反した場合、失格とする。

(3)　制限時間　：　5 分(超過した場合は減点とする)

(4)　著作権　：　都道府県代表生徒の弁論の著作権は後述する主催者に帰属する。

(5)　禁 止 事 項　:(a)　マイクなど音声機器は使用しない。

(b)　視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。

(c)　演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。

(d)　上記(a)、(b)、(c)の条項に違反した場合は審査委員の合議により減点対象となる場合がある。

≪暗唱部門≫　弁論部門に準ずるものとする。ただし、応募方法、論題、制限時間等は都道府県ごとに異なるため、事前に必ず県大会主催者に問い合わせること。なお、本部門の中央大会は開催しない。

④　賞　(1)　県大会弁論部門の上位 3 名(東京、大阪、神奈川、北海道は 5 名。愛知、福岡は 4 名) が中央大会参加資格を得る。ただし、都道府県代表(以下県代表と称す)は 1 校から 1 名とする。上位に同一校の生徒が入賞した場合、そのうち上位の者のみが中央大会参加資格を獲得し、次点の他校生徒が繰り上がって県代表となる。

(2)　(1)の規定により、3 位以内に入賞しながら中央大会に出場できなかった生徒には「名誉賞」を与え、大会後の記念レセプションに招待する。ただし、交通費等は自己負担とする。

(3)　県大会上位入賞者に賞状を、中央大会時に参加章を贈呈する。

【 中 央 大 会 】

◆決勝予選大会◆

① 期　　日　第 1 部(関東地区)＝34 校(6 校選抜)11 月 22 日(水) 午前 9 時 00 分～午後 1 時 15 分
東京、神奈川、埼玉、茨城、栃木、千葉、群馬、長野、山梨、静岡
第 2 部(北部日本地区)＝38 校(7 校選抜)11 月 22 日(水) 午後 1 時 40 分～午後 6 時 20 分
北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、新潟、福島、富山、石川、福井、岐阜
第 3 部(中部日本地区)＝39 校(7 校選抜) 11 月 23 日(木・祝) 午前 9 時 00 分～午後 1 時 40 分
愛知、滋賀、三重、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫、島根、鳥取、岡山、広島
第 4 部(南部日本地区)＝40 校(7 校選抜)11 月 23 日(木・祝) 午後 2 時 5 分～午後 6 時 45 分
山口、徳島、香川、愛媛、高知、福岡、大分、佐賀、宮崎、長崎、熊本、鹿児島、沖縄

② 会　　場　国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町 3-1)

③ 参加資格　県大会で選ばれた代表 3 名。東京、大阪、神奈川、北海道は 5 名。愛知、福岡は 4 名。(1 校より 1 名)

④ 応募方法　弁論原稿(A4 サイズ 1 枚　手書き不可)を添えて、大会ホームページ上の中央大会参加申込フォーム(https://jnsafund.org/application_form/)を提出。また、学校長推薦状・肖像権等同意書を高円宮杯事務局に郵送。

⑤ 締切期日　中央大会参加申込フォーム及び学校長推薦状・肖像権同意書－**道府県大会終了後 1 週間以内(必着)**
(応募書類の受領後、10 月下旬に中央大会の詳細を知らせる)

⑥ 審査方法　3 つの観点(内容、英語力、表現)から審査する。特に内容を重視する。

⑦ 中央大会参加費用　県代表生徒の往復交通費、宿泊費は規定に基づき主催者が補助する。

◆決勝大会◆

① 期　　日　2023 年 11 月 24 日(金) 午前 11 時 15 分～午後 3 時 15 分

② 会　　場　よみうりホール(東京都千代田区有楽町 1-11-1 ［JR 有楽町駅前　読売会館 7 階］)

③ 参加資格　決勝予選大会各部より選抜された 27 名。

④ 審査方法　決勝予選大会に準ずる。

⑤ 決勝大会参加費用　県代表生徒の往復交通費、宿泊費は規定に基づき主催者が補助する。

＊決勝大会出場者のスピーチの様子は、教材としてインターネット等での公開を予定。

【決勝大会の表彰】　(※賞は諸事情により変更となる可能性がある。)

1 位 高円宮杯	▸①読売新聞社「学校表彰状」 ▸②JNSA基金「個人表彰状」 ▸③記念メダル ▸④「国際ソロプチミスト東京-東賞」賞状と副賞 ▸⑤「キングジム賞」賞品 ▸⑥「セイコーウオッチ賞」賞品 ▸⑦「ぺんてる賞」賞状と副賞 ▸⑧The Japan News 1 年分贈呈(学校)
2 位 読売新聞社杯	▸①～⑧
3 位 JNSA基金杯	▸①～⑧
4 位 The Japan News 杯	▸①～③、⑥、⑦、The Japan News 6 か月分贈呈(学校)
5 位 ～ 7 位 読売中高生新聞杯	▸①～③、⑥、⑦、The Japan News 6 か月分贈呈(学校)
8 位 ～ 10 位 記念メダル及び副賞	▸③、⑥、⑦、The Japan News 3 か月贈呈(学校)
11 位 ～ 27 位 記念メダル及び副賞	▸③、⑦、The Japan News 3 か月分贈呈(学校)
ワールド・ファミリー賞	決勝大会で「人とのつながり」をテーマに、優秀な弁論を行った生徒若干名に賞状と副賞を贈呈する。
大使館賞	アイルランド大使館、オーストラリア大使館、カナダ大使館、ニュージーランド大使館より研修旅行を副賞とする賞が申呈される。(詳しくは高円宮杯 HP 参照)

主　　催　読売新聞社、日本学生協会(JNSA)基金
後　　援　外務省、文部科学省、都道府県教育委員会、都道府県英語教育団体
特別協賛　東進ハイスクール・東進衛星予備校
協　　賛　日本テレビ放送網、ぺんてる、ワールド・ファミリー、国際ソロプチミスト東京-東、日本テレビ小鳩文化事業団
協　　力　キングジム、ニューウェルブランズ・ジャパン(パーカーペン)、研究社、美術出版エデュケーショナル、セイコーウオッチ、日本マクドナルド、山崎製パン、森永乳業、ロッテ、帝国ホテル　他

〒100-8055 東京都千代田区大手町 1-7-1
読売新聞東京本社内
高円宮杯事務局
Tel　03-3217-8393
Fax　03-3217-8358
E-Mail　takamado_general@jnsafund.org
URL　https://www.jnsafund.org